

インタビュー

3月6日(日) 第1部 出演者



吉田 春乃 (サクソフォン)

・さぬき市出身

・高松第一高等学校音楽科を経て、現在、京都市立芸術大学音楽学部管打楽専攻に在籍。

音楽は

「人々の心に響き、負の感情を穏やかにしてくれる」

—「デビューリサイタル」に応募した理由

私にとって、デビューリサイタルは憧れの舞台だったからです。中学校の頃、先輩方がデビューリサイタルに出演されている姿を見て、「いつかあのステージに立ちたい！」という想いが強くありました。正直、大学在学中はまだ早いのではないかと、思いながら今回初応募をさせていただいたところ、出演が決定し本当に驚きました。

—サクソフォンを始めようと思ったきっかけ

実は、小学校の頃はサクソフォンではなく、アルトホルンとチューバを担当していました。中学校の吹奏楽部に入る際に父親がアルトサクソフォンをプレゼントしてくれたのがきっかけでサクソフォンを始めました。

—心を動かされた曲や聴いてみてほしい曲

あえてクラシック音楽ではない曲を挙げますが、SUKISHAさんの「不確かな夜」です。この曲は初めて私が一目惚れならぬ、ひと聴きぼれをしてしまった曲で、たちまちSUKISHAワールドに入り込んでしまいます。深夜に聴いていただくのがおすすめです。是非聴いてみてください。

—コロナ禍で演奏活動が制限される中、特に大変だったこと

たくさんありますが、1番憤りを感じたのは企画していた演奏会をやむを得ず中止しなければならない状況が生まれたことです。最近、新型コロナウイルス感染拡大のため公演を中止することがありました。その時は、運営面で頑張ってきたことが全て水の泡になってしまうのでやるせない気持ちになったのを鮮明に覚えています。

—最後に一言

このようなご時世ではありますが、精一杯準備してまいりますのでご来場いただくと幸いです。よろしくお願い致します！